

留学先国名 : アメリカ

留学先学校名 : Bellevue College

留学期間 : 平成 28 年 9 月 10 日 ~ 平成 29 年 9 月 20 日

私はアメリカ合衆国ワシントン州の Bellevue College にて 1 年間の留学をしました。1 年間は大きく分けて 4 クォーターに分かれており、第 1 クォーターは英語や基礎ビジネスの授業、第 2・第 3 クォーターは実際に現地学生や他の留学生とともにカレッジの授業を受け、最後は現地のスタートアップ企業にてインターンシップを行いました。

留学先で行ったことを学部授業と、課外活動、インターンシップの 3 パートに分けて紹介します。

#### 【学部授業】

私は、大学院で情報工学を学習しているのですが、この留学では主に Project Management、Marketing Analytics、Introduction to Marketing など Business 及び Marketing を主に学習しました。この中でも日本にはない授業形態で面白かったものが、

Marketing Analytics です。この講義では座学として、Marketing Data の分析を行うだけでなく、実践活動として、実際に学外に出て、企業にアポイントメントをとり、データの収集を行ったのち、分析・経営改善策の提案を行うというグループワークがありました。私のチームメンバーは既に企業で働いており、企業との折衝・データの分析・改善策提案に関してある程度知識も経験もあるという中で、自分の価値をどこで発揮するのかということを中心に考え、積極的にデータの分析と、そこから見える問題の提起を行いました。このようにアメリカの講義では、ただ知識を学ぶだけでなく、社会にあるリアルなタスクの解決のため学んだ知識を応用するという形式も少なくなく、実践を通じて知識が経験として身につきました。また、アメリカでは学び直し文化が根付いており、社会人が学生として授業を受けていることも多々あり、ともに講義を受ける中で、社会人の考え方を学ぶことができました。

#### 【課外活動】

私は主に 2 つ課外活動を行いました。

##### 1 ベジタリアン向けアプリの作成

シアトルのラーメン店とコラボして、ベジタリアンラーメンの認知度の向上を行うプロジェクトを行い、モバイルアプリの作成や 3,000 人規模のベジタリアンイベントで 2 日間のブース出展・プロモーションを行いました。多くのベジタリアンからは、ラーメンが好きであるにもかかわらず、材料に肉が使われているため食べることができないという悩みをよく耳にする一方で、ラーメン店側からは、ベジタリアン用ラーメンを提供していることが認知されておらず、店と消費者の間でギャップがあることに私は気づきました。そこで私は学生団体を立ち上げ、ラーメン店とベジタリアン協会に支援を頂き、ベジタリアンに向けたラーメン店紹介アプリの作成と 3,000 人規模のイベントで広報を行うことにしました。その結果、シアトル地区在住の 5% のベジタリアンに認知していただき、ベジタリアン用ラーメンの売上を 40% 向

上させました。この経験から、問題の発見とそれを解決するための製品の開発、製品を認知・普及させるための広報、チームマネジメントを一貫して学ぶことができました。

## 2 日系企業のプロモーション施策提案インターン

「提案を今後の施策に採用してもらおう」ことを目標に、シアトル地区における某日系企業の認知度向上の為に戦略提案を学生インターンとして行いました。日本ではすでに知名度・認知度が高い企業でも、海外では未だ高くないということが多々存在します。私たちはシアトル地区に在住する顧客層の現状分析を通じて、認知度向上のための施策の提案を行いました。途中、その企業の米国における知名度の低さ、情報の少なさから何が効果的なプロモーションとなりうるのかがわからず、壁に直面することも多々ありましたが、少ない情報で具体性に乏しい施策を提案することを避けるため、街に出て顧客となる方々から直接意見を伺うことで乗り越えました。その結果、顧客への直接調査による具体的な根拠を軸にした私たちの提案が一部採用されることとなりました。この経験からマーケティング施策の立案、及び英語での施策提案プレゼンの手法を学びました。

これらの課外活動を通じて、私が重要視していたことは、自分が今までやったことのないことに挑戦することです。モバイルアプリの作成もプロモーション施策の作成も今までやったことはありません。しかしこの経験から私は、ものづくりの世界に文系・理系という区別は必要なく、相互が協力しながら消費者にアプローチすることが大切だということを感じることができました。この学びを活かし、将来のキャリアに反映していきたいです。

### 【インターンシップ】

私は Tupl というベルビューに本社を構える、スタートアップ企業でインターンをさせていただきました。この会社では主に、機械学習を用いた通信データの解析・可視化とその結果を利用したオペレーションの提案をまとめて行うプラットフォームの作成、販売を行っていました。この中で私はソフトウェアの開発・日本向け資料の作成・日本語資料の英訳など幅広い業務に携わらせていただきました。日本で学んだコンピュータサイエンスの知識とアメリカで身につけたビジネス・マーケティングの知識を組み合わせる業務を行うことができました。インターン中には日本との折衝もある中で時差の問題を大きく感じ、アメリカ時間で働きつつも日本時間を意識した仕事を行う必要があり不規則な勤務形態になることもあったため、とても辛かったです。しかし結果として、日本で働くことと、アメリカで働くことを共に経験できたのでとても良かったです。

留学を振り返って私が感じることは、「英語を勉強しに行く」という目的で留学をするのではなく、「自分のやりたいことをやる」という目的で挑むべきだと思います。英語を勉強することは、日本でもできるということを改めてアメリカで実感しました。せつかくたくさんのお金を使って留学するのだから、現地できか達成しえない目標を立てて、その達成に向けて日々の生活を送れば充実した留学になるのではないかと思います。